



# トップランナーから未来へ

国土交通省 中部地方整備局  
中部技術事務所長

稲葉 傑

稲葉 傑 (いなば しげる)  
昭和60年国土交通省 中部地方整備局 入局。  
国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室課長補佐、静岡河川事務所長等を経て現職。令和5年3月をもって定年退職。  
趣味は、映画を見ること、本を読むこと。

## 仕事哲学を教えてください。

・バランス感覚を持って仕事をする  
・調整しながら仕事をする  
が自分にとって大切だと思います。  
管理職になってからは特に、みんなが仕事をしやすいように、バランス感覚を持って調整することを意識していました。

## 成長を感じたタイミングは？

20代の頃、上司である係長が病気で数か月不在だったときです。  
自分自身をマネジメントして、自分自身で物事を色々考えて仕事をしていました。その時に、人間的にも一番成長したのかなと思っています。



## 影響を与えてくれた人物や言葉

などを教えてください。

▶担当者のとき (課長からの言葉)  
「積極的にちやんと主張しよう。主張しなければ、何も進まないよ」  
諦めずに主張し続ければ何かしら変わってくるということを教えてくださいました。

▶担当者のとき (係長からの言葉)  
「法令等の行間を読むようになることが重要。法令等で「～してはいけない」と書かれていること以外はできる」  
文章の意図することは何なのかを考え、書かれていないことを理解できるようにならないといけない、ということ。  
法令等の意味を理解して判断することが大切ということを学びました。

▶課長補佐のとき (同僚からの言葉)  
「資料は何が言いたいのか分かるように、立体的に作ろう」  
要は、強弱を付けて立体的なものが見えるようにということです。  
資料は自分のために作るのではなく、読んでもらう人のために作っている。だから、読んでもらう人の立場に立って資料を作ることを心掛けてください。

## 中部地方整備局はどんな組織ですか？

やはり、「中部地方をよりよくする」ということを考えているのは、私たち地方整備局の職員なのかなと思っています。

国土交通省は、日本全体をよくするために政策や施策を真剣に考えている組織。  
そして、様々な施策を組み合わせながら地域の実情に合わせて少しでも地域をよくしようと考え行動する。それが地方整備局。

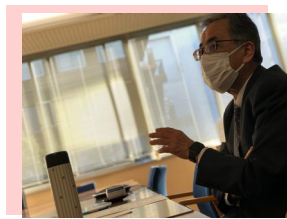
こうした積み重ねのおかげか、仕事をしていると地域の首長等に頼られているなど感じることもあります。

## 河川事業の魅力教えてください。

若い頃は、予算の確保や事業等の施設をつくるのが魅力だと思っていました。  
長く勤めの中で、整備した施設の効果・効用等が発揮され、地域のためになることが魅力だと感じています。

## 多くの転職を経験されましたが、振り返った時の感想を教えてください。

私は飽き性で同じ仕事を長くすることが苦手なので、自分には合っていないなあと感じています。  
概ね2～3年ごとに異動があるので、一緒に働く仲間が変わり、人の繋がりが増えていくことがよいことだと思います。



## 仕事で地元の方と関わる中でやりがいを感じたことはありますか？

地域に頼られている・信頼されていると感じた時にやりがいを感じましたね。そして、地域から「中部地方整備局の係長」という肩書きなしで「稲葉という個人」として頼られた際には達成感もありましたね。

## 若手職員やこれからを担う若者に期待することはありますか？

自分の目で見えて聞いて、何を求められているのか、何をすべきなのか、周りをよく見ながら考える。それが全てかな。コミュニケーションをとりながら、よく考え、主張し、良い方向に変えていってください。

## どんな人材がこの職場にフィットすると思いますか？

処理能力よりも「やる気」だと思います。  
その中で、落としどころやリスク等、先のことを考えながら仕事をするのも重要です。先のことを考えずに仕事をしていると後で大変なことになりますからね。

そして、どんなことでもやりがい・モチベーションを持ちながら仕事ができる人がこの職場にフィットすると思います。例えば、単純作業や単調な仕事でも、何か楽しみを見つけながら仕事をしていくと、やりがい・モチベーションも変わってくると思いますよ。

## 学生時代にこんな経験をした方がよいと思うことは？

様々な人と関わっておくと良いと思います。この職場だと転動があるので、たくさんの人と関わってきました。そういったところが自分自身の成長にも繋がりましたからね。

## 充実した仕事でしたか？この仕事を選んでよかったですか？

“大きいことがやりたい”という理由で中部地方整備局を志望したことを今でも覚えています。  
実際にダム事業に携わり、様々な経験ができたので楽しかった3年間でした。

## これからの中部地方を担う世代にエールをお願いします。

自分のため、家族のため、組織のため、中部地方のため、そして日本のためになるように頑張ってください。多分一番大切なのは自分の健康と気力。  
その次は家族、それがあってはじめて仕事ができると思います。  
その後、地域のためとか、組織のために頑張っていただけだと思いますね。

そして、肩書きが偉いのであって個人が偉い訳ではないことを認識して、肩書きがなくても良いように研鑽を積んでほしいです。

## ～さよなら～

退職が近づき、飲みに行こうと誘ってくれる人がたくさんいます。ありがたいなあと思いますね (笑)  
私自身が部下から慕われているかは分かりませんが、ぜひ皆さんも部下から慕われるような人間になれるとよいと思います。

